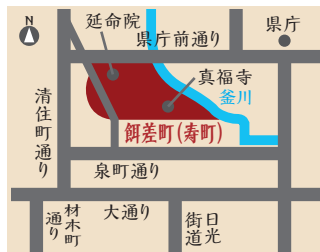




▲東京・白河乗合場車発着場



延命院の西側の通りは昔、日光街道

た。明治6年に「寿町」という町名になりました。

命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、

明治6年に「寿町」という町名になりました。

なつたと伝えられています。町内には延命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、

明治6年に「寿町」という町名になりました。

なつたと伝えられています。町内には延命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、

明治6年に「寿町」という町名になりました。

なつたと伝えられています。町内には延命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、

明治6年に「寿町」という町名になりました。

なつたと伝えられています。町内には延命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、

明治6年に「寿町」という町名になりました。

ずんでいます。

の供養碑がひっそりとたた

は、乗合馬車に使われた馬

うです。今でも手塚舎の近

くにあった延命院の境内に

で結ばれるなど、交通手段

の発達で、明治20年には馬

車会社の営業を終了したよ

うです。今でも手塚舎の近

くにあった延命院の境内に

で結ばれるなど、交通手段

の発達で、明治20年には馬

車会社の営業を終了したよ

うです。今でも手塚舎の近

くにあった延命院の境内に

で結ばれるなど、交通手段

の発達で、明治20年には馬

寿自治会は、泉町4番を中心とした一帯ですが、明治初期まで「餌差町」と呼ばれていました。一説には、鷹匠や鷹の餌となる小鳥を捕る餌差人がこの付近に住んでいたため、その通称になったと伝えられています。町内には延命院と真福寺が東西に並んでいて、両寺の門前と餌差町が、明治6年に「寿町」という町名になりました。

古いまちの呼び名とこぼれ話を紹介します



寿自治会 会長 立野 幸夫さん

天保十四癸卯年之図字

日光街道

清住町

延命院

泉町

日光

手塚

延命

真福

福釜